

令和 3 年 8 月 13 日

岐阜信用金庫  
理事長 住田 裕綱  
公益財団法人ぎふしん記念財団  
理事長 高橋 征利

### 岐阜市新庁舎への箔画寄贈について

岐阜信用金庫（理事長 住田裕綱）と、公益財団法人ぎふしん記念財団（理事長 高橋征利）は、岐阜市新庁舎の開庁を記念して、市民交流スペース「ミンナト」に箔画を寄贈いたしましたのでお知らせします。

#### 記

日 時 令和 3 年 8 月 12 日（木） 10：00 より  
場 所 岐阜市新庁舎 1 階 市民交流スペース「ミンナト」  
寄贈作品 箔画「Landscape # 50－岐阜樂市樂座図－」 200 cm×500 cm  
制 作 箔画作家 野口琢郎 氏（京都市）  
監 修 岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館 館長 山本真一 氏  
寄 贈 者 岐阜信用金庫・公益財団法人ぎふしん記念財団

#### 《除幕式 出席者》

岐阜市長 柴橋正直 氏  
岐阜信用金庫 理事長 住田裕綱 氏  
公益財団法人ぎふしん記念財団 理事長 高橋征利 氏  
箔画作家 野口琢郎 氏  
岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館 館長 山本真一 氏 他

以 上

■ 寄贈 箔画

箔画「Landscape # 50 - 岐阜樂市樂座図 -」

■ 制作 箔画作家

野口 琢郎 Takuro Noguchi

(除幕式)



《 無断転載 禁止 》

2021年作 200cm × 500cm

箔画 Hakuga(木パネル、漆、金・銀・プラチナ箔、石炭、樹脂、アクリル絵具)

制作 2020年8月～

■寄贈箔画箔画「Landscape #50－岐阜楽市楽座図－」の解説

野口琢郎氏は京都西陣の箔屋野口(創業1877年)の五代目であり、代々伝わる引箔の制作技法を縦横に駆使し、新たな美術表現へと昇華させた独自の箔画を制作。現在は箔画作家として国内外で活躍されています。漆の接着力によって画面全体に施された金・銀・プラチナ箔の輝きは、観る角度や光源により変化し、多様な美しさを感じさせてくれます。

今回制作した箔画は、令和の岐阜市をモチーフに金雲の隙間から街並みが表現され、岐阜城、市庁舎、学校、鶺鴒、長良川花火大会、信長像などの名所の他、自動車、猫などの日常の営みも見つけることができます。

市街地に漂う金雲には、隠し絵として岐阜市の市章や岐阜ゆかりの武将紋があしらわれ、太古から濃尾平野を悠然と流れる長良川は、過去から現代に受け継がれる伝統の象徴として画面中央に表現され、私たち市民を引きつけます。

約450年前、岐阜城を拠点に織田信長は、「楽市楽座」による商業発展・地域活性化を目指しました。「岐阜楽市楽座図」は令和岐阜を抽象化し、箔画で表現することで、現在の岐阜市の賑わいを後世に伝えます。

監修 岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館 館長 山本 真一

## ■ 箔画とは

(出典:野口氏 HP)

野口琢郎の箔画とは、漆と箔によって表現された新たな絵画表現であり、その独自の技法は京都西陣の箔屋に代々伝わる引箔(西陣織の帯の中に織り込まれる金糸の様なもの)の制作技法から生まれました。

ベースとなる木パネルに何度か漆を塗り重ねる事によって下地を作った後、漆の粘着力によって金・銀・プラチナ箔を接着する事で様々なイメージを表現しています。青や赤などの色部分は銀箔の化学変化(硫化)によって色を変化させたものであり、その上から透明の絵具で色を強調する場合があります。

黒色部分は自ら石臼でひいた石炭の粉末を使用し、部分的な盛り上げには錆漆や樹脂を使用、木パネル自体を彫る場合もあり、立体感を表現しています。

箔画独特の魅力は、画面全体に施された金・銀・プラチナ箔の輝きが光源や観る角度によって変化するところにあります。

## ■ 公益財団法人ぎふしん記念財団について

岐阜信用金庫は、昭和 61 年(1986 年)4 月 24 日、基金 1 億円で「財団法人ぎふしん記念財団」を設立。預金量 1 兆円突破を機に地域貢献を行うために設立した組織であり、当初の目的は公共施設の緑化推進と整備とし、学校、公園など県、市町村施設への助成を事業としました。

その後、平成 23 年(2011 年)の公益財団認定に伴い基金を 2 億 2,000 万円に増額。活動内容を地域生活環境の整備、地域の産業振興と発展、文化・芸術の振興を目的とした助成、住民の福祉の向上、教育・スポーツ等を通じた心身の健全な発展への寄与を目的とする助成に事業を拡大し、「地域社会繁栄へのご奉仕」を通じて地方創生と持続可能な社会の実現に取り組んでいます。